

令和5年3月 社会部 活動報告

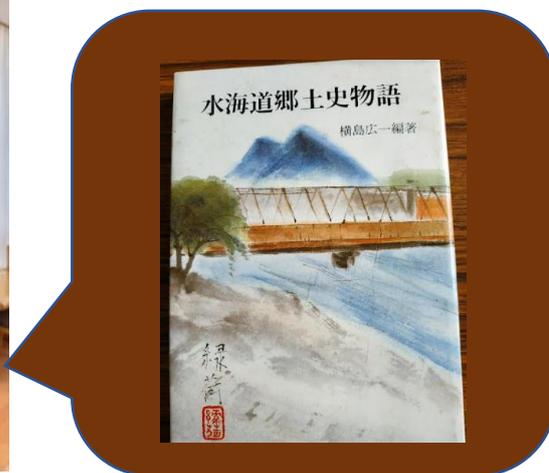
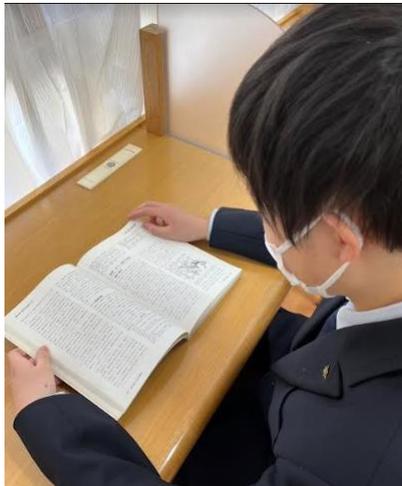
常総市 水運業の歴史

社会部の春の活動は常総市の歴史について、調べ学習を進めています。常総市水海道の「水海道」の地名は、坂上田村麻呂がこの地で馬に水を飲ませた「水飼戸」が語源であるが、かつては鬼怒川水運の重要な拠点で、河岸を中心に大いに賑わっていた場所であった。

学校図書館の書架には、茨城県の古い歴史書が多く、多くの古書が残っている「宝の山」だった。



常総市図書館にも、多くの水の歴史にまつわる本があった。



調べ学習後、本に掲載されていた水運業で栄えた船着き場へ行ってみた。



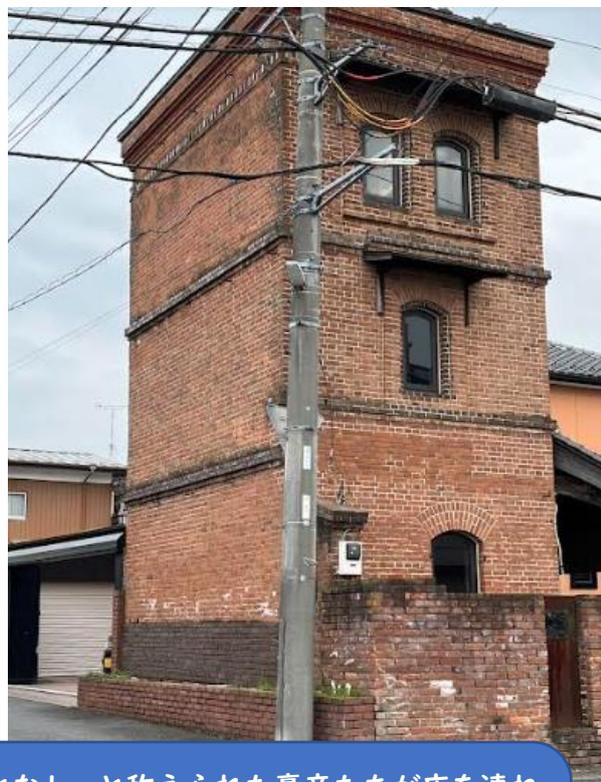
水海道河岸の跡地は、一休みできる椅子が置いてある。



有形文化財となっている跡地



五木宗レンガ蔵



水海道河岸には「鬼怒川の水は尽きるとも、その富は尽くることなし」と称えられた豪商たちが店を連ねた。有力な問屋の一つである五木田家は、代々「宗右衛門」を名乗り、「五木宗」と称していた。醤油の醸造販売の傍ら廻漕業も営み、会津藩の廻米を扱うなど水海道河岸における水運の中心的な役割を担った。こうした繁栄ぶりを今に伝えているのが、このレンガ蔵である。（：常総市ホームページ掲載）

このほかにも、常総市にまつわる様々な水運の歴史がわかってきたので、調査を続けていきます。

常総市役所訪問 施設見学 水害対策調査





水害時の状況について当時の映像や、施設内での比較をしながら学ぶことができました。

また現在の水害時の電源確保などについても常総市の対策について知ることができたので、今後の活動につなげていきたいと思います。貴重なお時間を頂き、誠にありがとうございました。

今後は、新入生を迎えて、引き続き常総市の歴史について調べ、文化祭に向けての発表準備をしていきたいと思っています。

興味のある生徒さんは是非社会部へ。